大宮南部浄化センター

みぬま見聞館だより No.72

令和6年6月1日発行

【“ヌゥ”＆見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

写真は今年生まれたアカハライモリの子供です。今年も数匹が孵化しました。
現在、解凍した赤虫を一生懸命食べています。

この春は、３月に例年より温度が上がらなかった為、ソメイヨシノは近年卒業式に咲いていましたが、４月の入学式に満開を迎えました。中旬になると気温が上り、一斉に花々が咲き誇り４月２０日頃フジの花が満開を迎えました。

アカハライモリの子供

令和５年度『いきもの、みっけた！』写真展

『　眼を見開いて　』
武田圭司氏撮影

今回応募のあった２９作品の中から、来館者の方に好きな写真を選んで投票をお願いしたところ、左の写真が１位に選出され、「みぬま見聞館だより第７２号」の表紙を飾ることになりました。サギの仲間『アオサギ』を捉えた写真で撮影者いわく『カメラを持って見沼周辺を歩き始めて１年半くらいのこの日、飛びゆくアオサギに上手くピントが合いました。』とのことです。

下の写真は応募いただいた写真です。
８月末迄展示中です。是非ご覧ください。

ミヤマカラスアゲハ　サナギからチョウへ

①１頭目

②２頭目

③３頭目

④２頭目の裏側

⑤サナギ

今年、ミヤマカラスアゲハのサナギ（写真⑤）を初めて育てました。

なかなか羽化のタイミングが合わないもので、最初のサナギは日曜日に羽化してしまい（写真①）、羽化の瞬間を見逃してしまいました。たまたま羽化の瞬間に立ち会った来館者の方はとても感動したそうです。２頭目（写真②④）も私が庭にいる間に羽化してしまいました。３頭目（写真③）は朝、出勤したら羽根を伸ばしてしまったところでした。ミヤマカラスアゲハは他のチョウと違いサナギを平らなところに置いても、サナギから出て近くをよじ登り羽根を伸ばします。幼虫の食草のカラスサンショウ（写真⑥）とコクサギ（写真⑦）も用意しましたが、２世の誕生は望めませんでした。チョウは種類によって、成虫で越冬するもの、幼虫で越冬するもの、サナギで越冬するもの様々です。オオムラサキは年に１回羽化するのが通常ですが、ミヤマカラスアゲハは年に数回羽化するそうです。とても美しいチョウです。

⑥カラスサンショウ

⑦コクサギ

「さいたま市河川の生きもの調査」の結果を公開しています

さいたま市では、平成１４年より、市内の水環境の状況を調べるために、川の生きものと水質の調査を実施しています。これまで、市内を流れる鴨川、芝川、綾瀬川、元荒川の４つの川で、魚、底生生物（貝やエビなど）、植物について、3年ごとに調査をしていましたが、令和5年度は初めて、河川沿いの陸上昆虫について調査を実施しました。

調査は令和5年6月と 10月の 2回実施し、その調査結果について、ホームページで公開しました。

https://www.city.saitama.jp/001/009/017/005/p091246.html

今回の調査では、4地点あわせて、１４目１５４科４８１種の昆虫類が確認されました。

重要種としては、７種類が発見されました。ただし、外来種についても、アカボシゴマダラなど１８種確認され、これらは在来種との競合や、農業被害の心配があります。

さいたま市では、こうした結果を踏まえ、川の水質や、生きものを守る方法を考えていきます。

＜確認された重要種（一部）＞

ビロウドサシガメ

ヒメナガメ

コシロシタバ

モンスズメバチ

＜確認された外来種（一部）＞

アカボシゴマダラ

チュウゴクアミガサハゴロモ

キマダラカメムシ

メリケントビハムシ

（さいたま市環境局環境共生部環境対策課　柿本記）

保育園・幼稚園で出前講座を行っております

皆さまのところへ職員が伺い、生き物とのふれあい体験など、自然に親しんでもらう出前講座を開設しています。講座の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。（本年度も現在１０月まで予約が埋まっております。）

春の自然観察・環境学習会を行いました

写真①

写真②

写真③

４月２１日（日曜日）に春の自然観察・環境学習会を行いました。当日は、９組２３名の参加があり、埼玉県生態系保護協会の研究員、工藤洋平氏を講師に迎え『見沼たんぼの春を感じよう！』と題し、庭園でガイドウオーク（写真①）を行い沢山の昆虫を観察、併せて市環境対策課の「生き物調査」（写真②）を行いました。途中小学校のプールから救出したヤゴを参加した子供達に自然庭園の池へ放流してもらいました（写真①の下）。また、研修室に戻り子供達が撮影した庭園の生き物の発表会（写真③）を行いました。

お知らせ

- ７月２５日（木）エコ工作シリーズ１「簡単、押し花を作ろう」
- ７月２８日（日）夏休み自然観察・環境学習会
- ７月３０日（火）エコ工作シリーズ２「草木染めを作ろう」
- ８月１８日（日）夏休み自然観察・環境学習会
- ８月２０日（火）エコ工作シリーズ３「ペットボトルで万華鏡を作ろう」
- ８月２２日（木）エコ工作シリーズ４「風力発電とソーラーミニカーを作ろう」

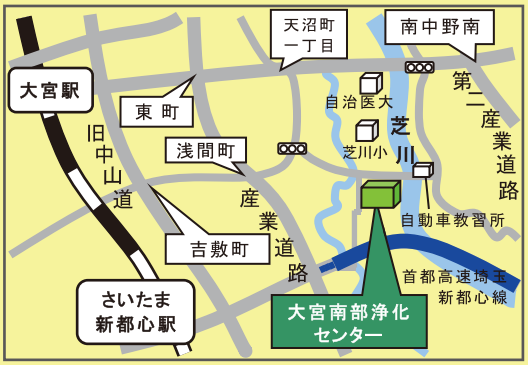
以上を予定していますが、状況に応じて中止や縮小などの場合もありますので、くわしくは市のホームページでご確認ください。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を 10 名以上で見学または
職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。
個人での来館もお待ちしています。

開館時間　９：00～17：00　**入館料**　無料
休館日　年末年始・毎月第４土曜日
住所　さいたま市見沼区大字上山口新田 508 番地 1
電話番号　048-646-6030　FAX 048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。



発　　行　さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター（みぬま見聞館）
この印刷物は環境に配慮したインクで印刷しています　印刷部数6,400部　単価10.72円

のびのびシティ さいたま市